

八戸

特養ホーム訪問 利用者と交流

八戸学院光星高
専攻科の学生ら

八戸市の八戸学院光星高専攻科介護福祉科と、同校保育科は20日、同市の特別養護老人ホーム「瑞光園」を訪れ、紙人形劇と手話コーラスを披

露し、利用者と楽しいひとときを過ごした。

日頃の学習の成果を福祉施設の現場で発表することで、心豊かな職業人を育てるのが狙い。地域に根差した教育活動の一環で、今回初めて企画した。同施設には、介護福祉科の実習でも訪問しており、「感謝の気持ちを伝えたい」との思いも込められている。

介護福祉科2年の23人と保育福祉科1年の24人が、「水戸黄門」の紙人形劇と、「花は咲く」と「切手のないおくりもの」の手話コーラスを発表。利用者約50人は、手拍子をしたり、手話をまねたりしながら見入っていた。

介護福祉科の沖田千春さん(19)は「緊張したけれど、喜んでもらえてうれしい」と笑顔を見せた。

(瀬戸麻理乃)

手話コーラスを披露する八戸学院光星高専攻科介護福祉科の学生

